

ケーススタディ： 南5病棟の 騒音を低減

Ovid® Synthesis Clinical Evidence Manager を用いて、
いかに病院が「患者の騒音に対する苦情」に迅速に対処したか

課題



Ovid® Synthesis
Clinical Evidence
Manager は、
施設全体にまたがる
プロジェクトをひとつの
ビューで提示できる
ソリューションです

当院の南5病棟は、ある問題を抱えていました。同病棟の騒音関連の患者満足度を表す Press Garney スコアが20パーセンタイルだったのです。過去1年の間、患者からの苦情と Press Garney スコアを慎重に追跡してきた継続的質改善（CQI）委員会にとって、この数字は驚くものではありませんでした。そして同時に、治癒にも健康全般にも睡眠と安静がいかに重要であるかを、病院も認識するに至りました。そこで患者の安静を改善することを最優先事項とし、まず夜間シフトに焦点を当てました。看護師は眠っているはずの患者が眠っていなかったことに気づき、その状況を改善したいと考えました。

病院は、南5病棟の騒音の原因を究明するためにQIプロジェクトを実施することを決定しました。騒音を低減するために行うべきエビデンスに基づく実践について検討し、騒音に対する患者満足度が80パーセンタイル以上になるよう介入を実施しました。

QIチームは、この問題について分かっていることを可能な限り詳細に書き出し、答えを出すべき疑問の枠組みを正確に決める必要がありました。諸専門分野からなるチームメンバーの中には、当院に来て間もない人もいれば、経験を積んだベテランもいました。そのため、誰もがプロジェクトに積極的に参画できるようにするプラットフォームと、プロセスのどの段階でも効率的なコミュニケーションを図れる手段が必要でした。

QIチームが求めていたのは、プロジェクトから情報の壁を取り除いてくれるソリューションでした。そしてまた、夜間の病院における騒音に関する最適かつ臨床的にもしっかりとした論文を速やかに特定・評価したいと考えていました。変化をもたらすために説得力あるエビデンスを示したかったのです。

ソリューション：Ovid® Synthesis Clinical Evidence Manager

QIチームは、チームメンバーのキャリアや経験に関係なく使用できる、という理由でOvid® Synthesis Clinical Evidence Manager と呼ばれるワークフロー管理ソリューションを採用しました。このソリューションにより、以前のQIプロジェクトにみられたような人手を必要とする作業を軽減でき、新人もベテランも熟慮が必要なプロセスにより多くの時間をかけられるようになりました。

Ovid® Synthesis Clinical Evidence Manager は、以下のEBPIに関する疑問を提起するようチームを導きました。

- どのような介入が南5病棟の騒音を低減し、患者が訴える睡眠の質を高められるのか？
- 現在の環境と比較して、南5病棟における騒音に対する患者満足度は2020年第4四半期までに80パーセンタイル以上まで改善するか？

テンプレートに従って、チームは、南5病棟ではすでにできる限り部屋を暗くして睡眠を促し、診察や投薬が必要な時のみ患者を起こすという対策をとっていた事実など、これまでの経緯を入力しました。すると本ソリューションは、騒音を低減し睡眠の質を改善するために他にどのような介入あるいはエビデンスに基づく実践があるのかについて、理解を深められるようガイドしました。

チームメンバーは、直観的な検索インターフェースからフルテキスト論文にアクセスし、AIを活用したフィルターで速やかに結果を絞り込むことができました。文献レビューフェーズでは、騒音はシフトの最初の4時間が最も大きいこと、その一方で室温と光が睡眠を促すことを示す1件の論文が見つかりました。他の4つの研究のシステムティックレビューではICU患者へのメラトニン投与について検討しましたが、いずれの研究も質が低く、この方法で睡眠の量や質を改善するとは示されませんでした。

結果

Ovid® Synthesis Clinical Evidence Manager は、エビデンス表および知見のサマリーなど、QIチームのプロジェクトの主な結果を自動的にまとめました。

- 光の強さと室温は、睡眠の量および質に影響しなかった
- 全般的な問題として、夜間の騒音が患者の睡眠の質と量を妨げている
- メラトニンが睡眠を促したというエビデンスは得られなかった
- 睡眠改善を促す介入は以下のとおり：
 1. ケアバンドルにより睡眠の妨げを低減する
 2. 必要になることを見越して、鎮痛薬を就寝前に投与する
 3. 耳栓を使用することで環境騒音を抑える

本ソリューションには、優先事項である実装に向けた、事例構築に役立つサンプルフォームが含まれていました。**このフォームにより、1) 夜間シフト中、病棟に環境要因による大きな騒音があったこと、2) 大声での会話をなくす、病室のドアを閉める、など、環境騒音を減らすためスタッフに求められる変化の特定と実行、3) 患者に耳栓を提供することで環境騒音に悩まされることが減る可能性があること、などを示す十分なエビデンスが認められることが明らかになりました。**

Ovid® Synthesis Clinical Evidence Manager によってよくまとめられた研究報告が完成し、QIチームは、改善策の推進を妨げるあらゆる障壁を克服する対策を推奨することもできました。

- 購買部門と連携して病棟に備蓄する耳栓を選定し、コストと予算を検討する
- 夜間シフトの看護師のスケジュールに、騒音データ収集と計画の向上を図るための時間を組み込む
- 騒音の低減を重視し、専門家の助言・勧告に従って協力する人がいるか確認する

Ovid® Synthesis Clinical Evidence Manager

Ovid® Synthesis Clinical Evidence Manager は、施設全体にまたがるプロジェクトをひとつのビューで提示できる唯一のソリューションです。プロジェクトワークフローを管理し、QI、EBP、および研究プロジェクトでの文献検索と評価をより効率的にすることで、質の高い、かつ最新研究の洞察に基づく臨床現場における改善へと導きます。

ウォルターズ・クルワーのカスタマー・エンゲージメント・チームは、実装、トレーニングをはじめとするお客様の様々なニーズに対し、個別にカスタマイズしたサポートを提供いたします。

詳細は、Ovid 営業担当者または
Ovid-Japan@wolterskluwer.com
までお問い合わせください

<https://Lead.me/ovid-synthesis>

